

ARIBから  
のお知らせ

---

情報通信月間参加行事「電波の日記念講演会」開催のお知らせ

近年の電波技術の発展は、移動通信の高度化や放送のデジタル化を促進し、電波利用システムは、社会経済活動及び国民生活の各分野に必要なインフラとして位置づけられています。

通信関係では、第三世代の移動体通信システムへの移行が進展するとともに、無線LAN・無線アクセスの普及が進んでいます。放送関係では、昨年12月に地上デジタルテレビ放送が首都圏、中京圏及び近畿圏でスタートしましたが、今後サービス地域が順次拡大され、平成18年には全都道府県でサービスが実現する予定です。

このような情勢を踏まえ、かつ、電波の日を記念して「電波利用の現状と今後の展望」をテーマとして電波行政の施策者、電気通信事業者、放送事業者及び無線機器製造事業者の各分野から講師をお迎えしてそれぞれの立場からのご講演を頂く、情報通信月間参加行事としての「電波の日記念講演会」を下記のとおり開催いたします。

ぜひ、ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

なお、プログラム、申込書、交通案内図は同封の案内状をご参照下さい。

1 日時 平成16年6月9日(水) 13:00から16:00まで

2 場所 全共連ビル 本館「大会議室」  
(地下鉄 永田町または赤坂見附下車)

3 実施機関

主催 社団法人 電波産業会  
情報通信月間推進協議会  
後援 総務省(予定)

4 講師

総務省 総合通信基盤局  
局長 有富 寛一郎氏

日本テレコム株式会社

取締役代表執行役員 倉重 英樹 氏

社団法人 地上デジタル放送推進協議会

理事長 北川 信 氏

三菱電機株式会社

取締役会長 谷口 一郎 氏

- 5 参加者 電波の利用者、無線機器製造事業者及び一般 250名予定
- 6 参加費 無料 (ただし、事前申し込みが必要)
- 7 問合せ先 社団法人電波産業会 企画国際部 青木  
TEL (03) 5510-8592
- 8 申込先 A R I B ホームページの「セミナー講演会等の申込み受け」  
( <http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html> ) から  
もしくは F A X : 03-3592-1103 まで

#### 情報通信月間参加行事

#### 「Beyond 3G に関する国際会議」開催のお知らせ

(International Conference on Beyond 3G Mobile Communications-2004)

2003年のITU無線通信総会(RA-2003)においてIMT-2000の高度化とその後継システムに関するフレームワーク勧告が承認され、また、同年の世界無線通信会議(WRC-2003)では、IMT-2000の高度化とその後継システムの周波数関連事項を2007年開催予定のWRC(WRC-2007)の議題に含めることが決定されました。今後WRC-2007に向けて、IMT-2000の後継システムに関する検討が世界的に加速することが予想されています。

このような状況を鑑み、主要国のエキスパートを一堂に会して、IMT-2000の後継システム、即ちBeyond 3Gの移動通信に関するビジョン、サービス、技術並びに標準化、そして将来への期待等について議論することにより、Beyond 3G移動通信システムの研究開発並びに標準化活動の推進に資することを目的として、下記のとおり「Beyond 3Gに関する

国際会議 (International Conference on Beyond 3G Mobile Communications-2004 (ICB3G-2004))

を開催しますのでお知らせいたします。

#### 1 開催期日及び場所

開催日：平成16年5月26日(水)及び27日(木)

会場： 高輪プリンスホテル地下1階「プリンスルーム」

〒108-8612 東京都港区高輪3-13-1

TEL: 03-3447-1111 FAX: 03-3446-0849

新幹線、JR線、京浜急行の品川駅（高輪口）から徒歩5分  
都営地下鉄浅草線高輪台駅から徒歩3分

## 2 主催者等

主催： 総務省(MPHPT)、情報通信研究機構(NICT)、ICB3G-2004組織委員会

後援： YRP研究開発推進協会、社団法人情報通信技術委員会(TTC)、  
社団法人電波産業会(ARIB)

協賛： モバイルITフォーラム(mITF)

## 3 会議の概要

講師： IMT-2000の後継システム、即ち Beyond 3Gの移動通信  
に関する国内外の専門家

形式： シンポジウム及びパネルディスカッション

詳細プログラム：

社団法人電波産業会ホームページ

<http://www.arib.or.jp/icb3g/pamphlet-j.pdf> をご参照ください。

## 4 これまでの開催実績

本会議は、以下に記述する、中国及び韓国で開催された「Beyond 3Gに関する国際会議」を継承して開催するものであり、今回が第3回となります。

	開催年	開催地	主催
第1回会議	2002年 11月	中国・北京	注1) 中国科学技術部高度技術研究開発センター (HTRDC) 及び中国863計画次世代移動通信コーディネーション委員会 (FuTURE)
第2回会議	2003年 3月	韓国・ソウル	注2) 韓国情報通信部及び韓国4Gビジョン委員会

注1) The High Technology Research and Development Center of MOST (HTRDC),

The Ministry of Science and Technology P.R. China (MOST)

FuTURE Coordination Committee of 863 Program (FuTURE),

The Ministry of Information Industry P.R. China (MII)

注2) Ministry of Information and Communication (MIC),

Korea 4G Vision Committee

## 5 会議への出席について

本会議は無料です。

本会議へご出席を希望される方は、社団法人電波産業会のホームページ上の、下記URLから、必ずレジストレーション（出席登録）をお願いいたします。

なお、会場の都合により、定員（350名を予定）になり次第、締切らせていただきますので、ご了承ください。

<http://www.arib.or.jp/icb3g/japanese.html>（日本語）又は

<http://www.arib.or.jp/icb3g/english.html>（英語）

## 6 その他

お問い合わせは、[icb3g-2004@ml.arib.or.jp](mailto:icb3g-2004@ml.arib.or.jp) までお願いいたします。

連絡先：

ICB3G-2004組織委員会

事務局 白石、斉藤 社団法人電波産業会 内

Tel 03-5510-8594 Fax03-3592-1103

### 情報通信月間参加行事

#### 「周波数資源開発シンポジウム2004」のお知らせ

近年、電波の需要が急増するに伴い、周波数資源開発に対する関心が高まりつつあります。このような状況の中、周波数資源開発の展望等について広く民間等の関係機関との意見交換を図るために、今年も国内外から講師をお招きして、下記のとおり「周波数資源開発シンポジウム2004」を開催します。

会員の皆様には、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

#### 記

1 日時 平成16年6月4日（金）午後1時から

2 会場 東京都港区元赤坂2-2-23

3 主催等

主催 独立行政法人 情報通信研究機構

社団法人 電波産業会

後援 総務省（予定）

財団法人 電気通信普及財団

協賛 情報通信月間推進協議会

4 テーマ これからの無線通信を考える

5 定員 250名

6 問合せ先 当会 小岩井（TEL03-5510-8593）

詳しくは、別途当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/osirase/index.html>) でご案内いたします。

### 第53回規格会議の開催のお知らせ

下記のとおり第53回規格会議を開催いたします。規格会議委員の皆様のご参加をお願いいたします。

- 1 日時 平成16年5月25日（火）午前10時から12時まで
- 2 会場 霞が関東京會館 ゴールドスタールーム（霞が関ビル<sup>35</sup>階）  
東京都千代田区霞が関3-2-5（電話03-3581-9161）

なお、議案はARIBホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「お知らせ」に5月12日（水）頃掲載しますのでご参照ください。

### 編集後記

いよいよその時（卒業）が来た、いい歳をして切ない気分であります。任期3年の予定で赴任しましたが、遅れて着任したことで電波産業調査統計・年鑑発行に遅れを生じ上司・同僚に迷惑をお掛けして、この穏かな職場にあるまじき土・日出勤を重ねてしまいました。

それでも、クタビレはしたものの鬱状態に陥ることなく過せたのは、闊達にして心優しい女性職員達にお付き合い頂き癒されたことや、懐深い幹部と同僚のお陰と感謝致しております。且つ痒いところに手が届くどころか、搔いてくれるほど徹底して面倒見の良い親睦会の各種催しにも救われました。

他に、この編集後記を担当できたのも幸いしました、編集子SUM氏のようにお洒落な編集後記にはならず冗長的ではありましたが、OB諸兄に励まされ思いを書く事が出来ました。

更に、この欄で二度登場頂きましたが欧州電波産業情報の翻訳・確認にご協力頂いているパリのM・Tさんには、公式情報以外に大胆にして切れの良いパリ情報を添えて頂き、弾みのある情報交換の場にもなりました、往復書簡として大切にしておきたいものです。ご帰国の際にお会いできまして、情報愛読者の友人達と一献交わすことができました、大事な思い出の一つになりそうです。

ARIBの特長は、卒業生がよく出入り下さることからも理解できますが、和気藹々と異企業交流も出来て、いい時間を過せる場所に思います。ARIB及び会員の皆様に“栄光あれ”（栄光：えいみつ 実は編集子の実名であります）を願って止みません。お世話になり有難う御座いました、後任もご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

（編集子:ECHO）